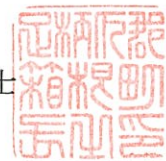


大

箱 水 第 300 号  
平成 29 年 3 月 31 日

国土交通大臣 殿

箱根町長 山口 昇士



社会資本総合整備計画の事後評価について（報告）

このことについて、社会資本整備総合交付金に係る計画等について第 3 第 3 項から第 6 項に基づき事後評価を実施しましたので報告します。

記

箱根町における健全で清らかな水環境の整備

箱根町における健全で清らかな水環境の整備

事後評価

箱根町

平成29年3月31日

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

事後評価書

平成 29年3月31日

計画の名称	箱根町における健全で清らかな水環境の整備		
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	箱根町
計画の目標	下水道施設の整備を行うことにより、安全・安心・快適な生活環境を創造する。		

計画の成果目標（定量的指標）	<p>①全体計画区域内整備面積率を47.9%（H23当初）から48.7%（H27末）に増加させる。                  ②幹線・主要路線におけるマンホール蓋改築更新率を10.6%（H23当初）から48.8%（H27末）に増加させる。                  ③強羅処理区の処理場・ポンプ場における改築更新率を38.3%（H23当初）から66.6%（H27末）に増加させる。                  ④処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率を0%（H23当初）から38.4%（H27末）に増加させる。                  ⑤主要幹線・路線における長寿命化計画策定率0%（H23当初）から37.9%（H25末）に増加させる。                  ⑥仙石原処理区の処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率を0%（H23当初）から50%（H27末）に増加させる。                  ⑦主要幹線・路線における長寿命化対策実施率0%（H23当初）から41.5%（H27末）に増加させる。</p>
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
①全体計画区域下水道処理普及面積率 整備済み面積 (ha) / 全体計画面積 (ha)	47.9%	48.3%	48.7%	
②幹線・主要路線におけるマンホール蓋の改築更新率 主要路線改築対策済みマンホール蓋 (基) / 主要路線マンホール蓋 (基)	10.6%	32.2%	48.8%	
③強羅処理区の処理場・ポンプ場における改築更新率 改築更新済み設備数 (箇所) / 改築更新が必要な設備数 (箇所)	38.3%	41.6%	66.6%	
④処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み設備数 (箇所) / 全設備数 (箇所)	0%	13.1%	38.4%	
⑤主要幹線・路線における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み主要幹線・路線 (路線数) / 全主要幹線・路線 (路線数)	0%	37.9%	37.9%	
⑥仙石原処理区の処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率 長寿命化対策済み設備数 (箇所) / 長寿命化対策が必要な設備数 (箇所)	0%	16.6%	50.0%	
⑦主要幹線・路線における長寿命化対策実施率 長寿命化計画によるH27までの長寿命化対策済の管路施設 (Km) / 長寿命化計画によるH27までの長寿命化対策を実施すべき管路施設 (Km)	0%	0%	41.3%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,497	A	1,497	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	-------	---	-------	---	---	---	---	---------------------------	------

事後評価

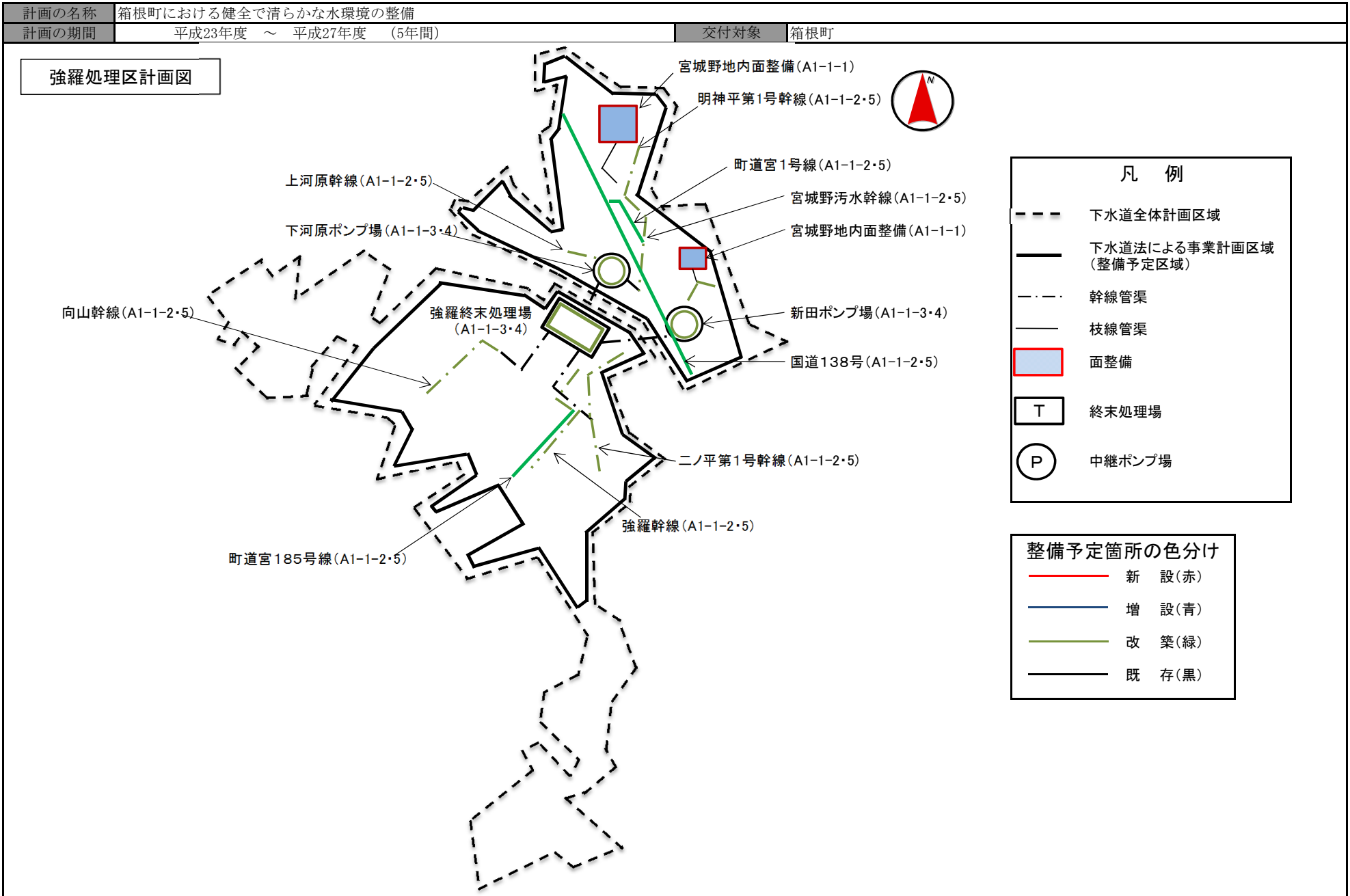
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
箱根町環境整備部において実施	平成28年度
	公表の方法
	町ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

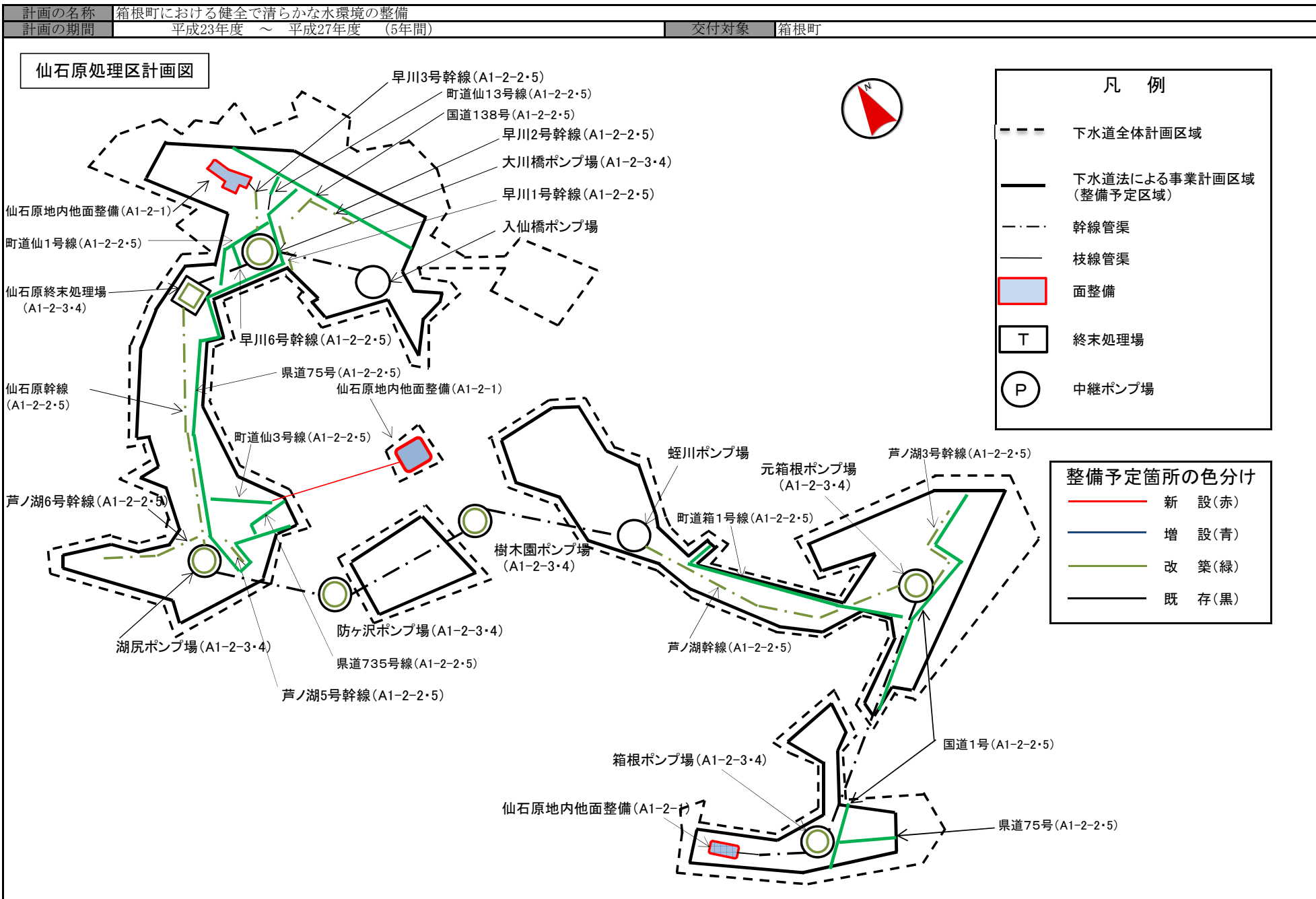
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
強羅処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	箱根町	直接	-	汚水	新設	宮城野地内面整備	L=0.2km	箱根町						18	
A1-1-2	下水道	一般	箱根町	直接	-	汚水	改築	強羅幹線他管路施設改築	マンホール蓋交換 88基	箱根町					38	長寿命化支援制度	
A1-1-3	下水道	一般	箱根町	直接	-	処理場・ポンプ場	改築	処理場・ポンプ場長寿命化計画策定	調査・計画策定	箱根町					20	長寿命化支援制度	
A1-1-4	下水道	一般	箱根町	直接	-	処理場・ポンプ場	改築	処理場・ポンプ場改築更新	機械電気設備等	箱根町					616	長寿命化支援制度	
A1-1-5	下水道	一般	箱根町	直接	-	汚水	改築	強羅幹線他管路長寿命化	調査・計画策定	箱根町					4	長寿命化支援制度	
仙石原処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	箱根町	直接	-	汚水	新設	仙石原地内他面整備	L=1.7km	箱根町					106		
A1-2-2	下水道	一般	箱根町	直接	-	汚水	改築	仙石原幹線他管路施設改築	マンホール蓋交換 111基	箱根町					50	長寿命化支援制度	
A1-2-3	下水道	一般	箱根町	直接	-	処理場・ポンプ場	改築	処理場・ポンプ場長寿命化計画策定	調査・計画策定	箱根町					25	長寿命化支援制度	
A1-2-4	下水道	一般	箱根町	直接	-	処理場・ポンプ場	改築	処理場・ポンプ場改築更新	機械電気設備等	箱根町					257	長寿命化支援制度	
A1-2-5	下水道	一般	箱根町	直接	-	汚水	改築	仙石原幹線他管路長寿命化	調査・計画策定, 対策工事L=0.3km	箱根町					30	長寿命化支援制度	
A1-2-6	下水道	一般	箱根町	直接	-	処理場・ポンプ場	改築	処理場・ポンプ場長寿命化	自家発電設備	箱根町					42	長寿命化支援制度	
														合計	1,206		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
														合計			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
														合計			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<ul style="list-style-type: none"> <li>・処理区域内の面整備を行うことにより処理人口を増やした。</li> <li>・マンホール蓋を浮上防止形に改築更新し、蓋のガタツキがなくなり事故の予防になった。</li> <li>・強羅処理区の処理場・ポンプ場の監視制御設備更新等を行った結果、設備健全度が向上し、安定した施設運用が可能となった。</li> <li>・処理場・ポンプ場における長寿命化計画を策定したことにより、施設の老朽化度合(健全度)の把握が可能になり、改築事業の効率化、事業費の平準化が図れるようになった。</li> <li>・主要幹線・路線における長寿命化計画策定することにより、効率的な維持管理・改築方針が策定できた。</li> <li>・仙石原処理区の処理場・ポンプ場の機械電気設備及び非常用自家発電設備原動機整備を行った結果、老朽劣化していた一部機器の健全度が向上し、安定した施設運用が可能となった。</li> <li>・仙石原処理区における管渠の更生をすることにより管渠の延命化が図れた。</li> </ul>									
II 定量的指標の達成状況				指標①整備済み面積	最終目標値	48.70%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費、人員不足等により調整等に難航し、目標値には達しなかったが、事業優先度の高い順から、計画的な面整備を行い、下水道普及面積を増加させた					
				最終実績値	48.30%								
				指標②主要路線改築対策済みマンホール蓋	最終目標値	48.80%	目標値と実績値に差が出た要因	事業費低減のため、対象路線に係る道路舗装工事時期にあわせてマンホール蓋の交換を実施したが、道路管理者等が実施する舗装工事の施工量が年度毎にばらつきがあり、計画通りの施工ができなかった。					
				最終実績値	32.60%								
				指標③改築更新済み設備数	最終目標値	66.60%	目標値と実績値に差が出た要因						
				最終実績値	66.60%								
				指標④長寿命化計画対策済み設備数	最終目標値	38.40%	目標値と実績値に差が出た要因						
				最終実績値	38.40%								
指標⑤長寿命化計画対策済み主要幹線・路線	最終目標値	37.90%	目標値と実績値に差が出た要因										
最終実績値	37.90%												
指標⑥長寿命化対策済み設備数	最終目標値	50.00%	目標値と実績値に差が出た要因										
最終実績値	50.00%												
指標⑦H27までの長寿命化対策済みの管路施設	最終目標値	41.30%	目標値と実績値に差が出た要因										
最終実績値	41.30%												
3. 特記事項(今後の方針)													
・財政状況の厳しい中、公共水域の保全のため汚水整備の計画の見直しも含め継続的に実施していく。また、管路・処理場ポンプ場の老朽化対策として、ストックマネジメント計画を策定し、継続的に事業を適正に実施していく。													

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

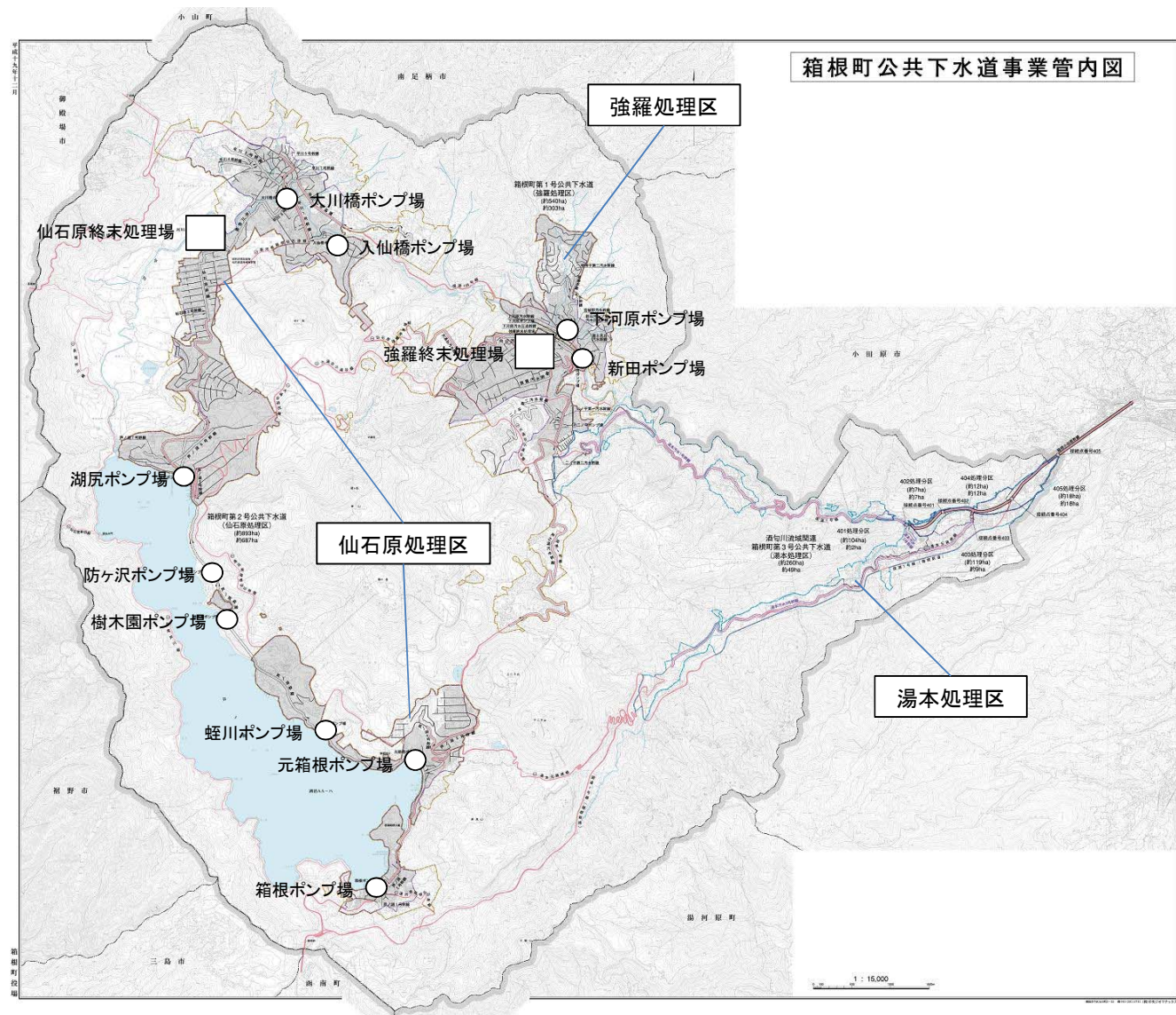


(参考図面) 水の安全・安心基盤整備



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	箱根町における健全で清らかな水環境の整備		交付対象	箱根町
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)			



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 箱根町における健全で清らかな水環境の整備

事業主体名: 箱根町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○